

1. 科目名 (単位数)	日本語教育の理論と方法 (2単位)	3. 科目番号	EIIE2151
2. 授業担当教員	野口 芙美		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	日本語教育の基礎的な理論とその展開の方法について学習する。日常使用する日本語を客観的に捉える力を養うことによって、自身の日本語力の向上をはかる。また「言語としての日本語」を知り、「外国人に日本語を教えること」とは何であるのかを知る。具体的には、日本語教育の歴史と現状、日本語の特徴とその社会文化背景要因、日本語の音韻体系や文法、日本語を学ぶ学習者事情といった側面から説く。		
8. 学習目標	1.日本語教育学の基礎知識について説明できるようになる。 2.日本語教育学の基礎知識を、自分で用例を挙げながら解釈したり、母語の知識と比較したりできるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1. 教科書の指定ページを読み、授業前に印象に残ったこと、疑問点などを整理しておくこと (事前課題)。授業後は授業の感想・コメント、質問を記入し提出すること (事後課題)。 2. 興味のある地域を一つ選び、その地域における日本語教育について調べて発表する (第6回授業)。発表後、内容をレポートにまとめて提出する。 3. 自身の音読を録音し、発音の問題や特徴を見直す (第7回)。フィードバックを踏まえて改善した音読を提出する。その際、改善した点について記載すること (書式なし)。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 高見沢孟 監修『新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識』アスク出版、2016年 【参考書】 ①荻野綱男編著『現代日本語学入門 改訂版』明治書院、2018年 ②高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育 2 日本語教授法入門』アスク出版、2016年 ※②は「日本語教授法Ⅰ」「日本語教授法Ⅱ」でも使用する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1) 日本語教育学の基礎知識について説明できるようになったか。 2) 日本語教育学の基礎知識を日本語 (と母国語) に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 提出課題 (レポート等)・発表 総合点の 40% 3 試験 総合点の 30% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生への メッセージ	日本語を日常的に使用しているからと言って、日本語を理論的に説明する、ましてや非母語話者に教えるという行為は誰にでも簡単にできるものではない。この授業では、日本語というものを客観的に捉え直し、他の言語と比べてどのような特徴があるのかを紐解きながら、外国語・第二言語としての日本語の教授スキルを学ぶ。授業を通して、これまで気づけなかった日本語の難しさや面白さを楽しみながら見つけてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、日本語教育の今	事前学習	日本語は現在どの国の学習者がどのぐらいの人が学んでいるのか、また海外で日本語はどのように扱われているのか考えてくる。
		事後学習	自分の興味のある地域を一つ選び、その地域における日本語教育について調べる。
第2回	日本語教育の歴史と現状	事前学習	国内では現在どのような人たちが日本語を学んでいるのか、考えてくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第3回	第1章 言語としての日本語 1. 日本語はどこから来たか 2. 語順から見た日本語 3. 日本語はどんな類型に属するか 4. 日本語にはどんな特徴があるか	事前学習	教科書 pp. 8-22 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第4回	第2章 日本語の音声① 1. 日本語の「音」 2. 日本語の音節 3. 日本語のリズム 4. 日本語の母音 5. 日本語の子音	事前学習	教科書 pp. 24-36 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。

第5回	第2章 日本語の音声② 6. 日本語の半母音 7. 日本語の「音素」 8. 母音の無声化 (devoicing) 9. 日本語のアクセント 10. 日本語のイントネーション (音調)	事前学習	教科書 pp. 37-44 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第6回	第2章 日本語の音声② 11. 日本語の音声指導 12. 日本語教師の音声訓練 プレゼンテーション：○○における日本語教育	事前学習	教科書 pp. 45-58 を熟読しておく。 プレゼンテーションに向け、準備を行う。
		事後学習	フィードバックを参考に、発表内容をレポートにまとめる。 課題を音読したものを録音して提出する
第7回	発音トレーニング 第3章 日本語の文法① 1. 日本語文法と国文法 2. 文型教育：表現文型のリストと提出順序	事前学習	自分自身の音読をよく聞き、気づいたことをまとめてくる。教科書 pp. 60-63 を熟読しておく。
		事後学習	フィードバックを踏まえ、もう一度音読を録音して持ってくる。
第8回	第3章 日本語の文法② 3. 品詞分類 4. 動詞の活用 5. 日本語の文法的特徴 6. 名詞文「～は～です」 7. 主語と主題	事前学習	教科書 pp. 64-82 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第9回	第3章 日本語の文法③ 8. 「こそあど」詞：指示詞 9. 形容詞 11. 動詞と表現意図 12. 「いる」と「ある」：存在文と所在文 13. 自動詞と他動詞 14. 「～ている」	事前学習	教科書 pp. 83-100 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第10回	第3章 日本語の文法④ 18. 授受表現 20. 「は」と「が」の用法 中級以降の文法	事前学習	教科書 pp. 107-124 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第11回	第4章 日本語の文字・表記① [参考] -日本語の文字の歴史-	事前学習	教科書 pp. 164-174 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第12回	第4章 日本語の文字・表記② 1. 常用漢字表について 2. 漢字の筆順 3. 送り仮名のつけ方 4. 現代仮名遣い 5. 外来語の表記 6. ローマ字の表記 7. くぎり符号・くり返し符号・横書きの書き方など	事前学習	教科書 pp. 132-162 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第13回	第5章 語彙 1. 語彙と語の違い 2. 語種 3. 語構成 4. 語彙の体系 5. 語を数える 6. 位相	事前学習	教科書 pp. 176-189 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	第6章 社会言語学 2. 敬語 3. 方言と共通語 4. 文法以外のコミュニケーション行動 5. コミュニケーション・ストラテジー 6. 言語接触 言語景観	事前学習	教科書 pp. 195-219 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第15回	これまでの授業の振り返り、期末試験の準備	事前学習	これまでの学習内容を復習し、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	期末試験の準備をする。

期末試験